学校番号	1101

令和８年度　工業（電気）

教科	工業(電気)	科目	電気実習５	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	実習指導書（本校作成）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コンセントに電化製品を接続すると電化製品は動作します。スイッチをオンにすると照明が点灯します。どうしてでしょうか？それは、電気が使用できるように工事を施工しているからです。一定の資格のある人でなければ、電気工事を行ってはならないことが、法令で決められています。電気実習５では電気工事（低圧屋内配線）に関する基礎的な知識・技術を、実習を通して習得します。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
工業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築をめざして自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	配線工事応用実習	・課題作品1の施工 ・課題作品2の施工	a．電気工事について興味関心を持っている。 b．電気工事を分析的に考え，事実に基づき科学的に判断できている。 c．電気工事技術について施工上の法令を含め，電気工事の技能を安全に作業することができる。電気工事について工具の使用方法や工事の知識や技術を身に付けている	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価
後期	配線工事応用実習	・課題作品3の施工 ・課題作品4の施工	a．電気工事について興味関心を持っている。 b．電気工事を分析的に考え，事実に基づき科学的に判断できている。 c．電気工事技術について施工上の法令を含め，電気工事の技能を安全に作業することができる。電気工事について工具の使用方法や工事の知識や技術を身に付けている	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価	学習活動の参加状況 各ショップの作品完成度 各ショップの課題・レポート 自己評価、授業評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度